

そなえる ぶくしま
ぼうさいじゅく
防災塾

教員用マニュアル

中高生向け

水害・土砂災害編



福島県

1

本教材について

① 「そなえるふくしま防災塾」とは？

- 過去に発生した災害の特徴や、災害から命を守るための知識、心構えを学べる防災動画教材です。
- 「3.11」を知らない子どもたちが増え、また、災害が頻発化・激甚化する中、より多くの生徒に防災への理解を深めてもらうために、教員の声を反映しながら制作しました。



教員編



1コマの授業（50分）での視聴を想定した動画教材！動画視聴とワークシートへの記入で授業が完結！



教員用マニュアルがあるから、防災に関する専門的な知識がなくとも防災教育を実施できる！



年齢や災害種別に応じた複数の動画教材を用意！それぞれ3分程度短縮した「ショート版」も！

- 中高生向け 地震・津波編
- 中高生向け 水害・土砂災害編
- 小学生向け 地震・津波編
- 小学生向け 水害・土砂災害編



希望するセクションの個別再生もOK！時間の都合に合わせて防災教育を展開可能！

〈個別再生の例〉



※ステップ4、ステップ5のみを再生し、生徒同士の対話や意見交換、発表に時間を長めに配分することも可能！



ここがポイント！



生徒編



動画を視聴し、学んだことや考えたことをワークシートに記入し、発表したり話し合ったりすることで理解が深まる！



災害を疑似体験できるVR映像やクイズを収録！命を守る知識を楽しく学べる！



被災した当時、小学生だった方の生の声も収録。生徒の視点から災害を考え、「自分事」として感じられる構成！



② 実施前にしていただくこと

- 3ステップで準備が完了！負担感なく実施いただけます。

STEP

1

特設サイトから教材一式を入手

- 動画教材（YouTube動画の再生／MP4ファイル）
- 教員用マニュアル（PDF／Word）
- ワークシート（PDF／Word／Googleドキュメント）

いつでも、ワンストップで入手！

STEP

2

教員用マニュアル(このマニュアル)を確認

動画の構成、進行例をチェック！
※詳細は2～3ページをご覧ください。

STEP

3

ワークシートを生徒へ配布

- 方法① データを印刷して配布
- 方法② タブレット端末を活用してデータ共有

動画を再生し、スタート！



特設サイト



そなえるふくしま防災塾

ワークシート



2

実施の流れ

👉 **I. 動画の構成** で動画教材の全体像をつかんだ上で、**II. 進行例** (→ 3 ページ) を参考にしながら実施することをおすすめします。

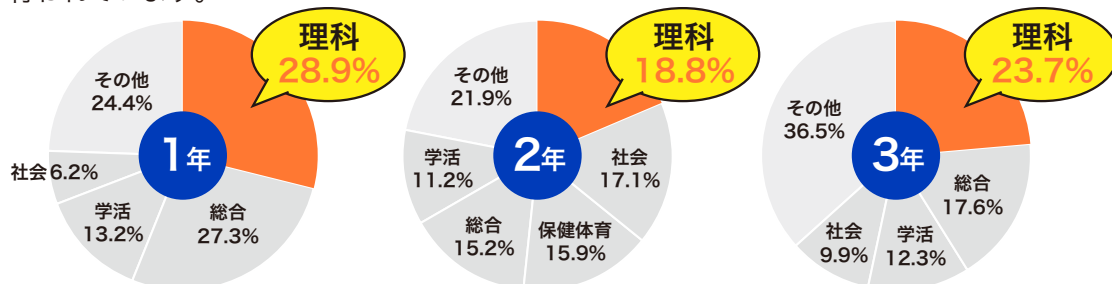
I. 動画の構成 (通常版)

セクション	画面イメージ	再生時間 (計約34分30秒)	内 容
ステップ1 はじめに		約2分 30秒	●プロローグ
ステップ2 過去の災害を 知ろう		約4分	●令和元年東日本台風の被害の大きさについて学ぶ。 ●福島県で発生した主要な災害について学ぶ。
ステップ3 被災者の話を 聞こう		約4分 40秒	●小学2年生の時に令和元年東日本台風で被災した男性の話を聞き、災害を「自分事」として感じ、命を守ることの大切さを学ぶ。
ステップ4 防災VRを 見よう		約5分 40秒	●福島県防災VR映像を視聴し、適切な行動を学ぶ。
ステップ5 防災について 学ぼう		約16分	●水害や土砂災害から命を守るための具体的な方法を学ぶ。 ●避難情報を確認する ●ハザードマップを確認しておく ●早めに避難する ●車による避難に注意 ●避難時は動きやすい格好で ●山にも近づかない ●助け合う
ステップ6 まとめ		約1分 40秒	●学習内容のおさらい ●エピローグ

※ステップ1からステップ6まで通して視聴することをおすすめしますが、希望するセクションを個別に再生しても差し支えありません。

「防災教育」はどの時間に行われている？

👉 中学校では、全ての学年で**理科**が最多です。**総合的な学習の時間**や**学級活動**、**社会**でも多く行われています。



出展：令和6年度防災教育実施教科等調査（調査主体：福島県教育庁）

II. 進行例 (通常版)

時間の目安	セクション	画面イメージ	一時停止ポイント・発言例
授業開始前		●動画の再生環境（画面、音声、通信）は問題ないか。 ●生徒にワークシートを配布（紙による配布/タブレット端末によるデータ共有）したか。	
0:00		「今から〇〇(教科名)の授業を始めます」 「今日のテーマは『防災』。『災害から命を守ること』について考えていきます」 「これから動画を見てもらいます。良い姿勢でモニターを見てください。それでは、スタートします」	
1:00	ステップ1 はじめに		※特段、対応することはありません。  声掛けの後、動画再生
3:30	ステップ2 過去の災害を知ろう		※特段、対応することはありません。
7:30	ステップ3 被災者の話を聞こう		
12:10			 ここで一時停止! 「被災された方の話を聞き、災害から自分の命を守るために、どのようにしたいと考えましたか。ワークシートの 1 に書きましょう」 ※2分程度、記入の時間をとる。 ※教員自身、被災経験があれば簡潔に話す。   声掛けの後、動画再生
14:30	ステップ4 防災VRを見よう		※特段、対応することはありません。
20:10	ステップ5 防災について学ぼう		
28:00			 ここで一時停止! 「ワークシートの 2 を見てください。 水害や土砂災害の危険が迫った状況をイメージしてください。 ①は、自分ならどの警戒レベルで避難するかを考え、当てはまるものを○で囲みましょう。 ②は、避難情報をどのような手段で確認するかを考え、当てはまるものを○で囲みましょう。 ③は、避難するまでにどのような準備をするか、できるだけ具体的に書きましょう。」 ※4分程度、記入の時間をとる。   声掛けの後、動画再生
40:30	ステップ6 まとめ		※特段、対応することはありません。  停止
42:00		「動画は以上です。ワークシートの 3 を見てください。 この動画を見て、自分や家族のために取り組んでみたいと思ったこと、また、地域のために取り組んでみたいと思ったことを書きましょう」 ※ワークシート記入後、残り時間にに応じて以下を実施する。 ●代表生徒による意見発表 ●生徒同士による意見交換 ●グループ内での意見交換	
48:30		「今日は『防災』、『災害から命を守ること』について学んできました」 「この動画は、特設サイトから誰でも見ることができます」 「ぜひ、お家に帰った後、お家の人と見て、命を守ることについて一緒に考えてみてください」	

3

実践的・発展的な学びにするために

- ☞ 本動画教材を使った学習の前後に、ハザードマップの確認や避難訓練、まち歩きなどを行うと、より実践的な学びにつながり、生徒が主体的に考え、行動する能力が高まることが期待されます。
- ☞ 学校や地域の状況に合わせて実践してください。

① ハザードマップの確認

- 💡 自分たちの住む地域のハザードマップを見て、自宅や学校などがどこにあるか、どのような危険があるかを確認します。
- 💡 ハザードマップには避難所も載っています。自宅から、どのルートを通って避難所に行くかを日頃から考えておくことが大切です。



② 避難訓練

- 💡 災害発生を想定した避難訓練を行い、適切な避難行動を学びます。
- 💡 本動画教材で学んだこと（学ぶこと）を訓練で実践することで、学びが定着するとともに、判断力や行動力が高まると期待されます。



③ まち歩き

- 💡 実際にまちを歩き、災害が起きたときに危険な場所を確認します。
- 💡 まち歩きを通して発見したことを地図に書き込んだり、発表したりすると学びが深まるでしょう。



こんなツールも！

そなえるふくしまノート

通称「そなふくノート」。「備える」「身を守る」「避難する」「生活する」ことについて学べる防災ガイドブック

そなえるふくしまノート 教本

「そなふくノート」の指導ガイド。指導のポイントや豆知識が記載されています。

マイ避難ノート

自分に合った適切な避難行動について考え、備える「マイ避難」を学べるノート

福島県防災アプリ

防災に関する情報や機能を集約したアプリ

福島県防災ポータル

災害に関する情報を掲載しているポータルサイト

福島県防災VR

災害を疑似体験できるVR映像。地震・津波編と水害・土砂災害編がある

福島県の過去の災害はこちら

県内における主要災害

ふくしま復興情報ポータルサイト